

事業戦略説明会

-中期経営計画（FY24-28）における新領域への挑戦-

サトーホールディングス株式会社
証券コード：6287

2030年ビジョン

新領域 血液SCM*

新領域 静脈物流

小沼 宏行

サトーホールディングス株式会社
代表取締役 社長執行役員
グループCEO



Kevin Allart

サトーヘルスケア株式会社
副社長



清水 香晶

株式会社サトー
新市場戦略部
部長



2030年ビジョン

新領域
血液SCM

新領域
静脈物流



“Perfect and Unique Tagging”を活用し、あらゆるものが情報化され、
社会のうごきが最適化されている未来の実現に貢献する

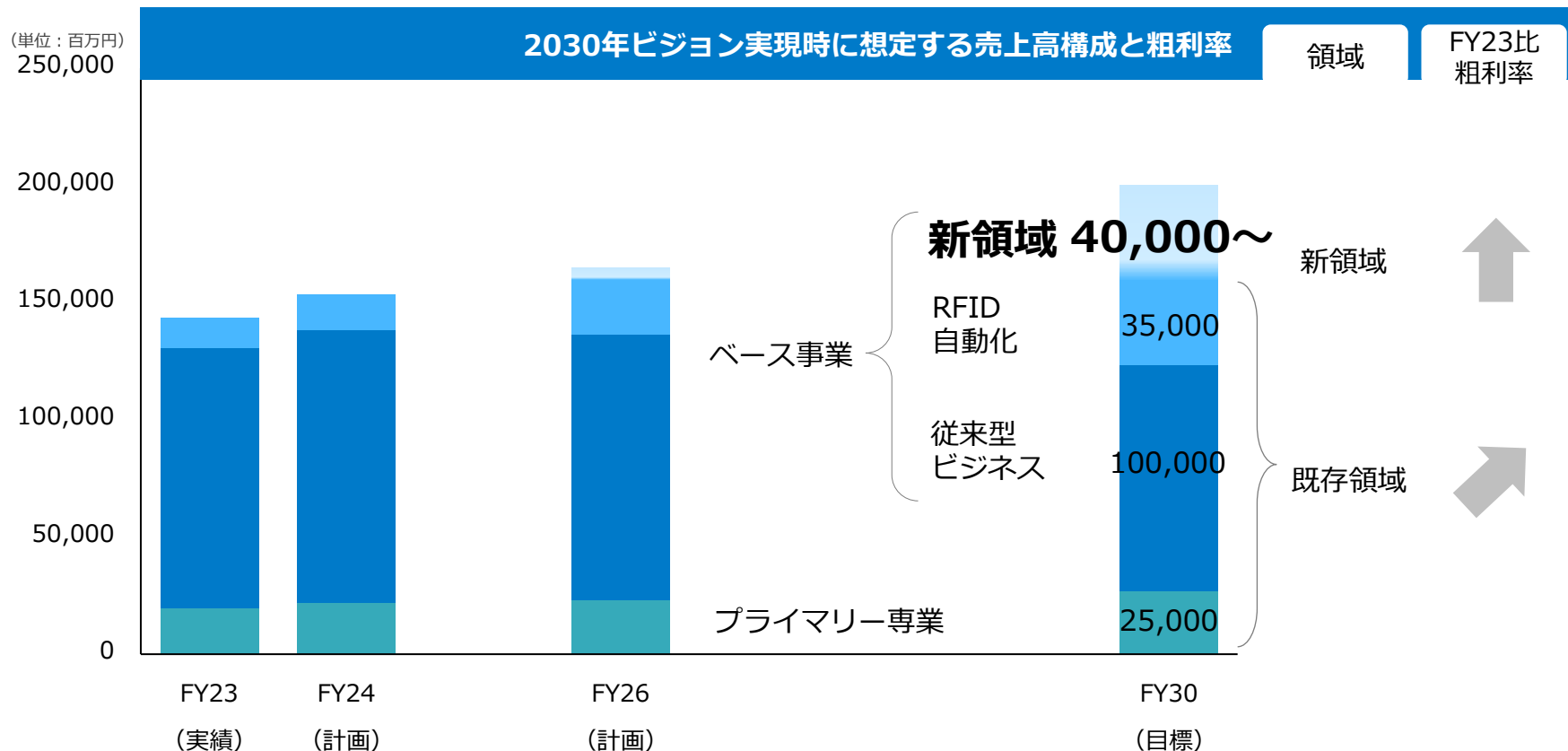
FY30
連結経営目標

売上高 : **2,000**億円

営業利益 : **210**億円、**10.5%**

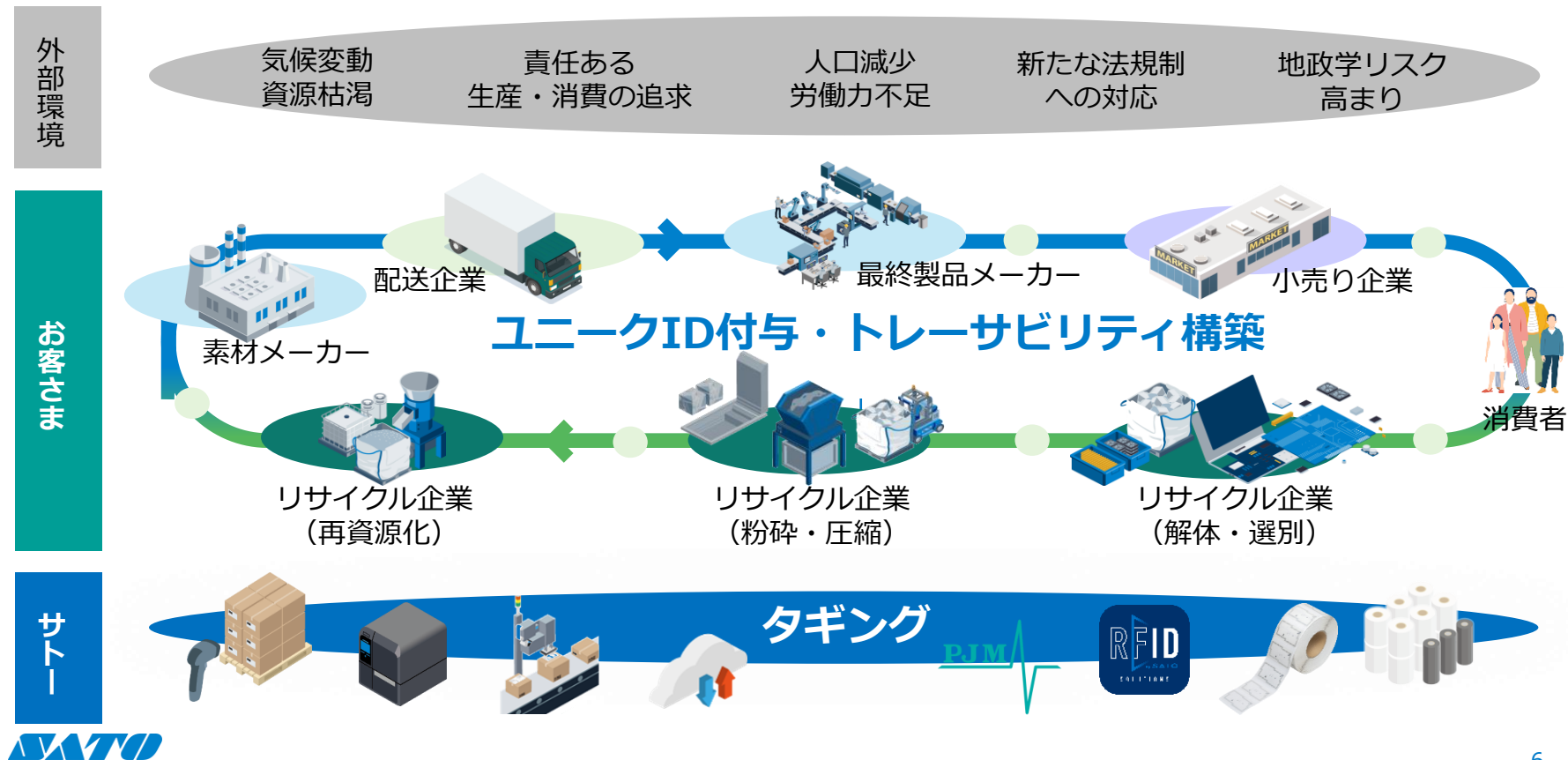
ROIC : **10%**以上

新領域への挑戦で利益を伴う売上高成長をめざす

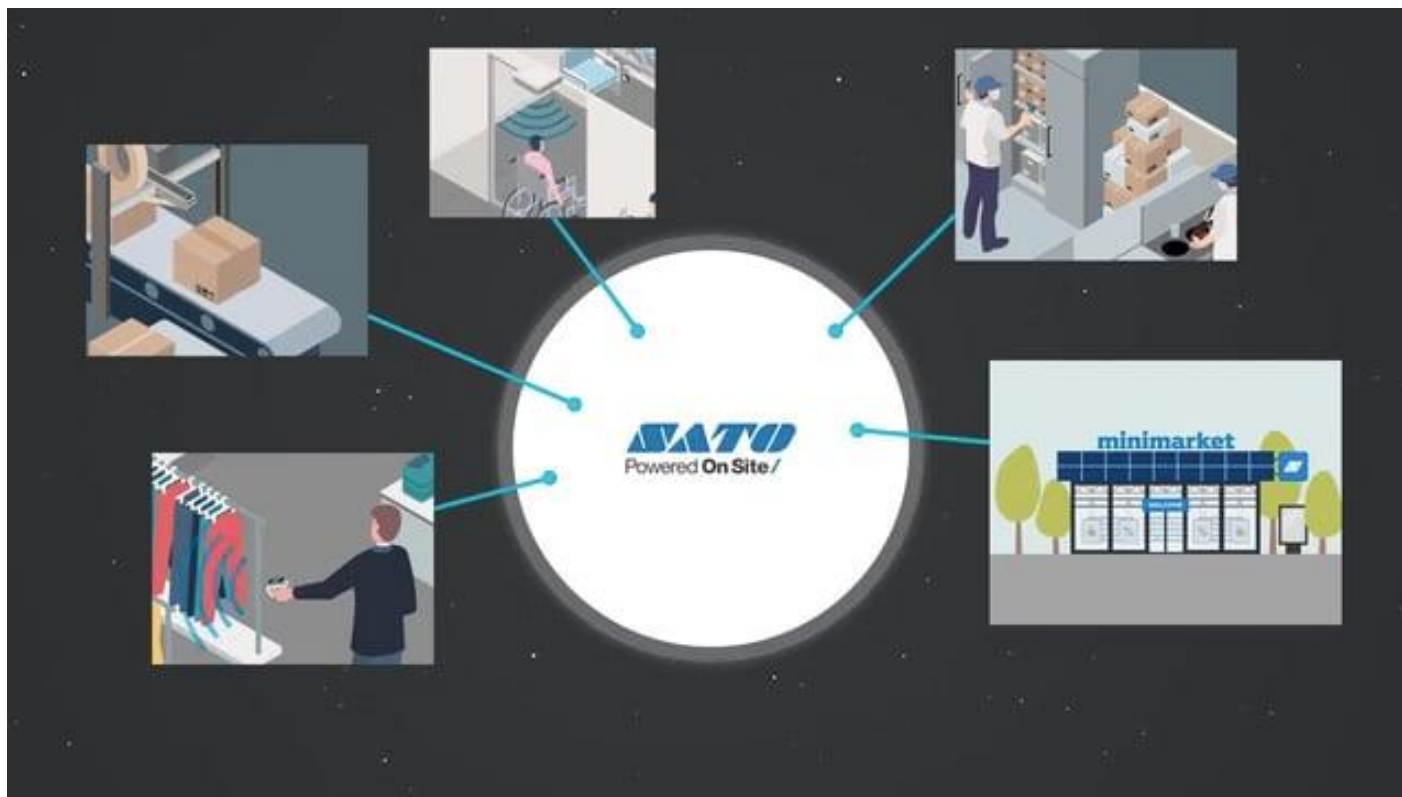


* フォーカス領域間での重複あり

タギングによるユニークID付与・トレーサビリティ構築でお客さま課題解決

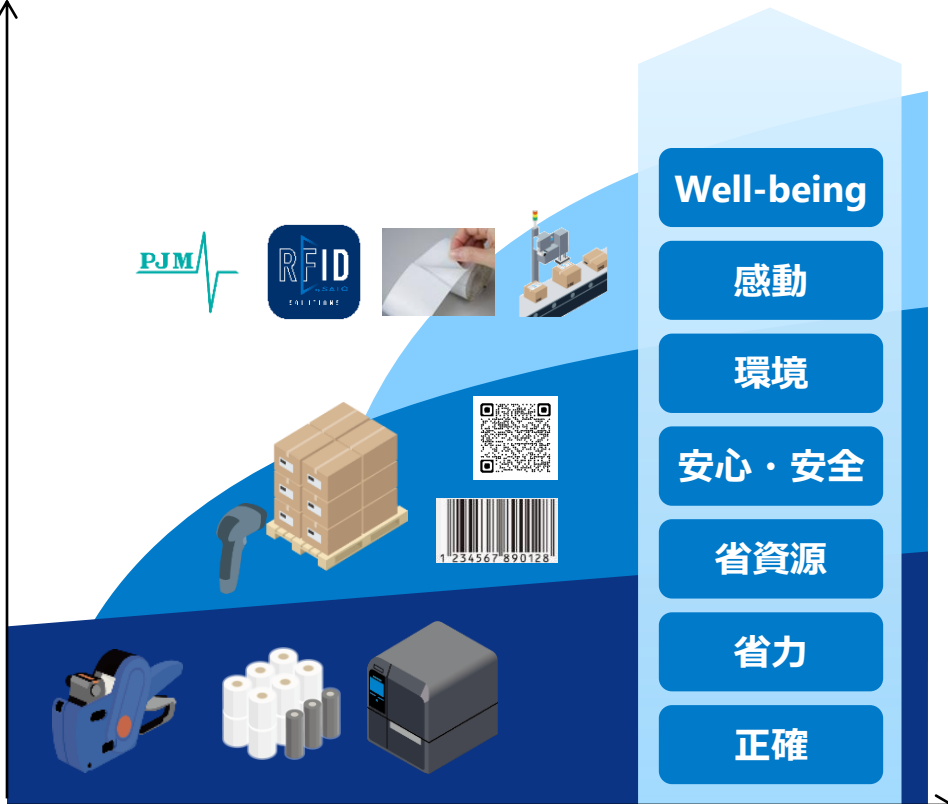


動画は以下画像のリンクより閲覧可能



新たな技術の獲得を通じ、価値提供の範囲を拡大

技術の水準 ↑



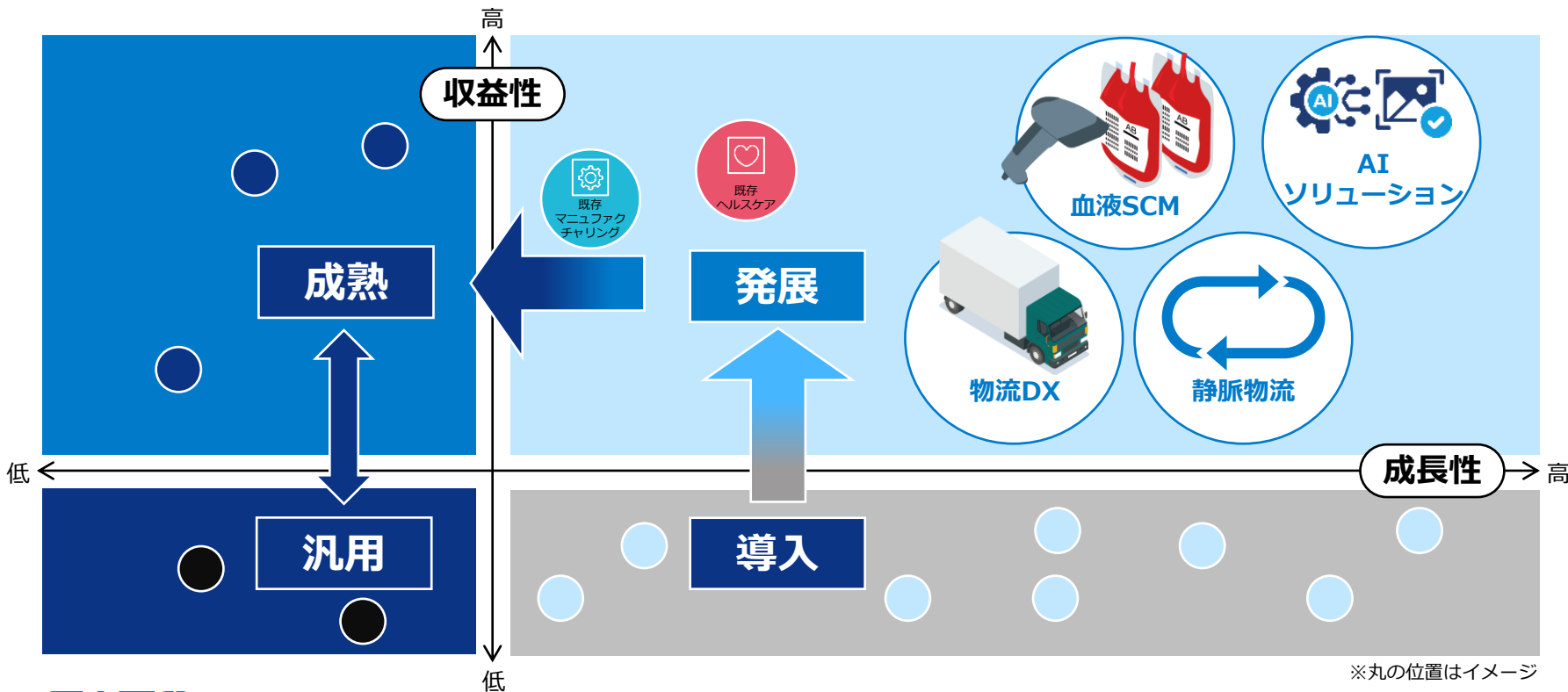
タグgingとその周辺技術を内部開発・M&A・資本提携・共創等により獲得

- 2024年8月：Abies Ventures社の組成ファンドにリミテッドパートナー出資し、新ソリューションの発案・開発および製品の付加価値創造を強化
- 2024年9月：スウェーデン MobileLogic社に出資を発表。業務アプリをノーコードで作成できる次世代クラウドプラットフォームの開発を本格始動



価値提供の範囲 →

成長性・収益性を軸に既存・新領域の事業を選定。
積極的なリソースシフトを実施し、持続的な成長を実現する



※丸の位置はイメージ

2030年ビジョン

新領域
血液SCM

新領域
静脈物流

医療現場でのさまざまな課題に対し、業務の可視化・効率化の必要性



世界的な高齢化・貧困層減少
による患者増加



法令改正等に伴う医療従事者の不足



血液不足



限られた医療従事者と資源で
より多くの患者に適切な医療の提供を行いたい

➡ **業務の可視化・効率化**

タギングソリューションによるユニークID付与で、患者に適切な医療を提供

医療現場課題

記録点
管理項目
が多い

- ・ 1アイテムごとの管理
- ・ 人命直結のため、正確性担保

管理項目（状態情報）例：

- ✓ 温度
- ✓ 滅菌工程
- ✓ 経路
- ✓ 在庫数量 etc.

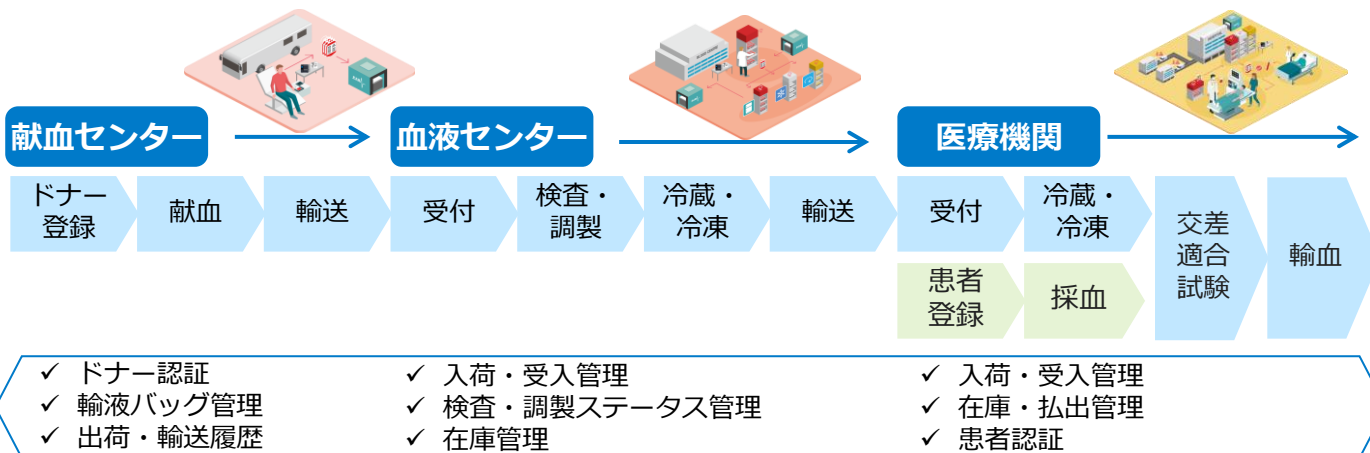


ロス率高い

血液不足で
単価上昇

病院経営
負担増大

血液SCMソリューション



タギングソリューションによるユニークID付与で、患者に適切な医療を提供

医療現場課題

・1アイテムごとの管理

正確な情報を紐づけ

FDA認証済み



PJM RFID
ラベル



デスクトップ
リーダー



デスクトップ
プリンター

正確かつ効率的な発送・受入・トレーサビリティ



PJM RFID
トンネルリーダー



PJM RFID
温度ロガー

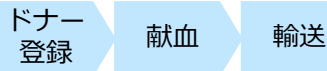
ロス率高い

リアルタイム在庫可視化

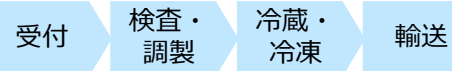


PJM RFID 血液保存装置用
コンポーネントキット

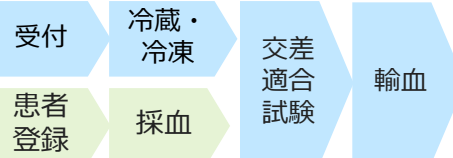
献血センター



血液センター



医療機関



血液

患者

ソリューション

- ✓ ドナー認証
- ✓ 輸液バッグ管理
- ✓ 出荷・輸送履歴

- ✓ 入荷・受入管理
- ✓ 検査・調製ステータス管理
- ✓ 在庫管理

- ✓ 入荷・受入管理
- ✓ 在庫・払出管理
- ✓ 患者認証

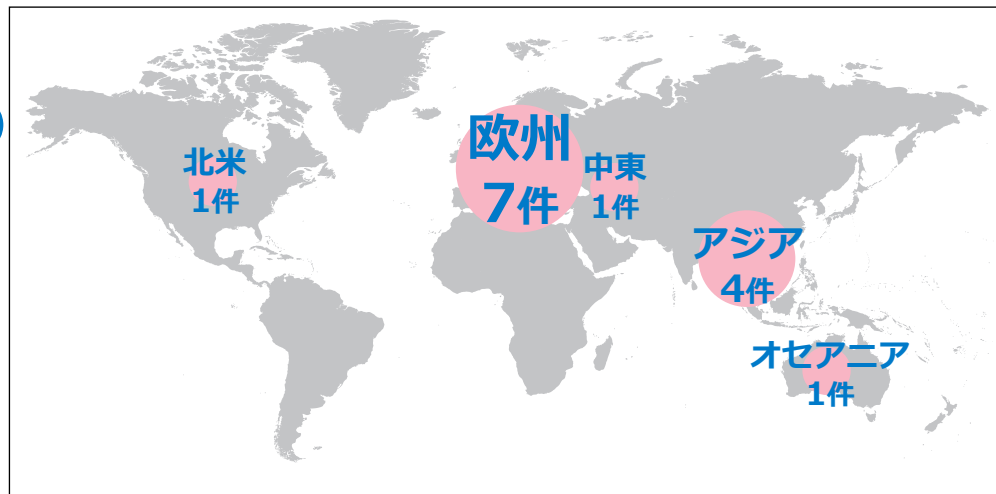
動画は以下画像のリンクより閲覧可能



トレーサビリティ需要の拡大とリソース投入によりグローバル商談数が急増

2023年12月時点 2件

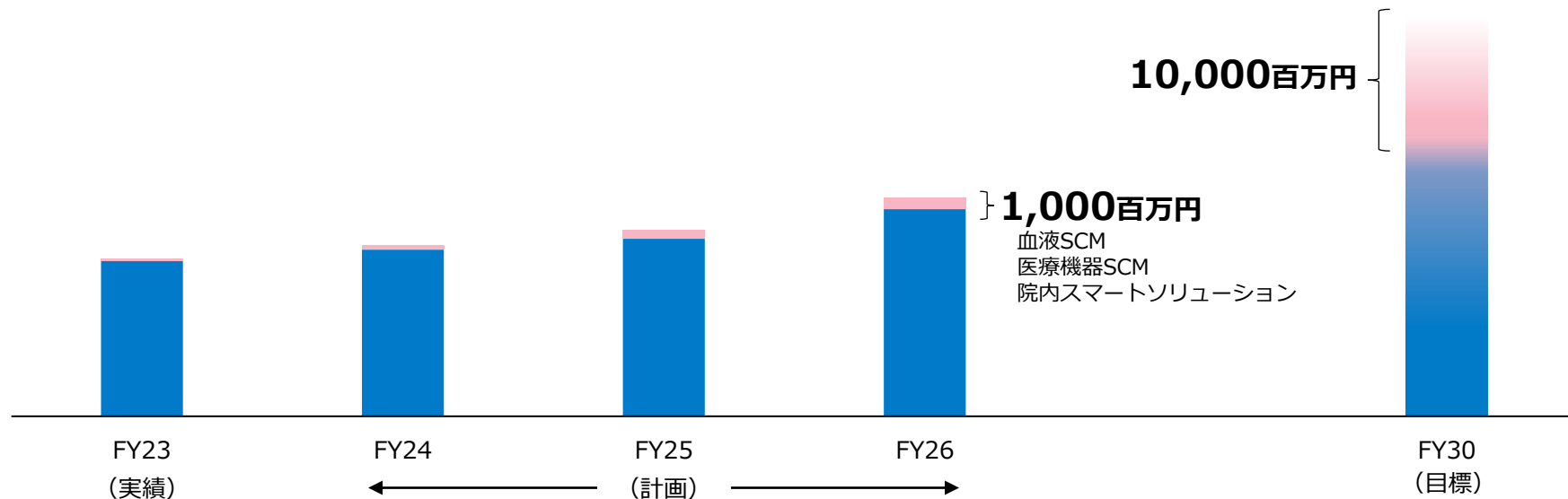
2024年12月時点 14件

1年間で
7倍

従来型ビジネスに加えて新領域への挑戦で成長を加速

ヘルスケア売上高

■ 新領域 ■ 既存領域

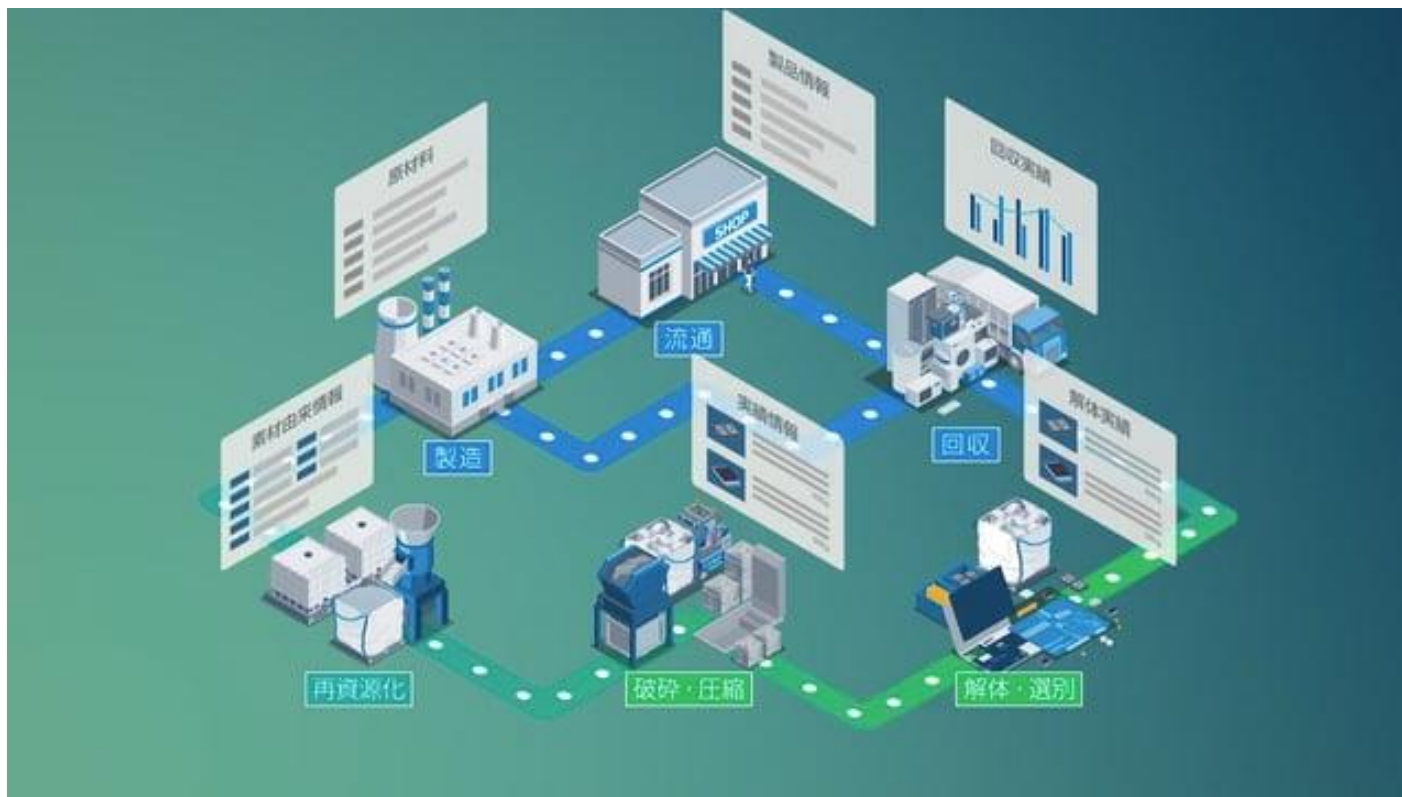


2030年ビジョン

新領域
血液SCM

新領域
静脈物流

動画は以下画像のリンクより閲覧可能



経済・社会活動の停滞を避けるため、循環型経済移行と再生材使用が必要



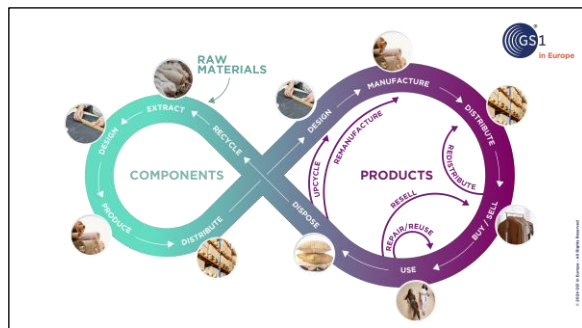
モノの過剰な生産・廃棄による環境破壊



資源枯渇による生産活動の停止



異常気象による経済活動の停滞



出所：GS1 in Europe

循環型経済への移行

- 価値の維持・回復により資源・製品を循環的に利用

再生材の使用

- 求められる品質・量の再生材を確実に供給

EU主導で循環型経済関連の法規制制定

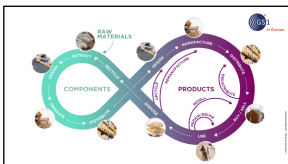
EU

欧州グリーンディール法



- 2050年カーボンニュートラル実現

持続可能な製品のためのエコデザイン規則



- 資源循環性
- エネルギー効率
- その他サステナビリティ項目の開示

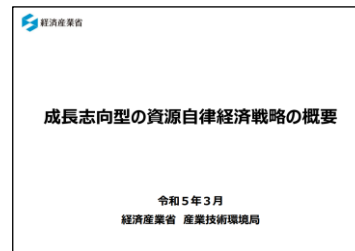
デジタル製品パスポート



- 製品に環境影響情報を電子的に付与
- メーカー・サプライヤー
政府・消費者が利用

日本

成長志向型の資源自律経済戦略



動・静脈
物流連携

連携の加速に向けた制度枠組みの見直し

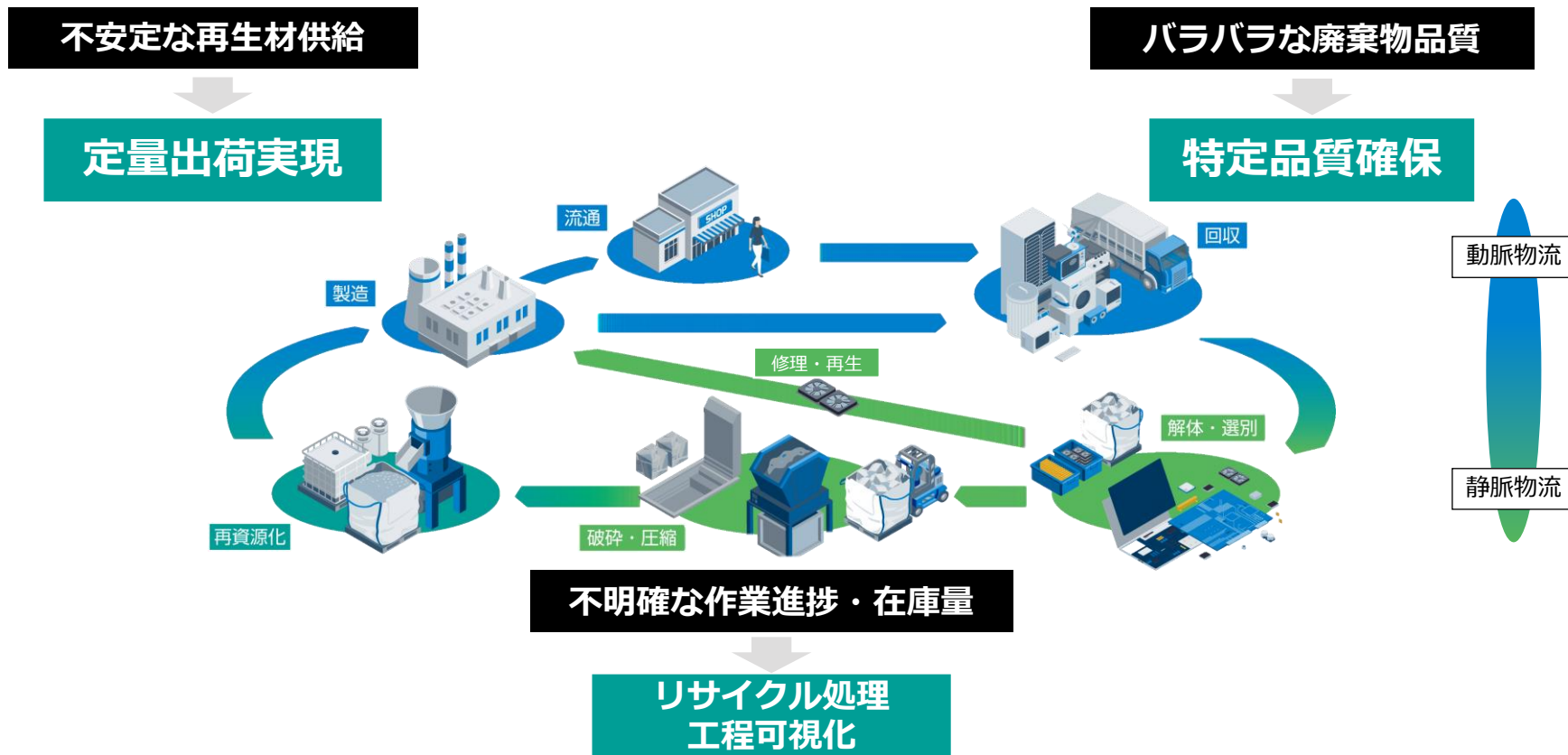
基盤整備

デジタル技術を活用したトレーサビリティ確保のための
情報流通プラットフォーム等構築

循環度やCO₂排出量等の測定・開示

出所：経済産業省 [成長志向型の資源自律経済戦略](#) 参考資料

静脈物流構築には定量出荷実現、特定品質確保、リサイクル処理工程可視化が必要



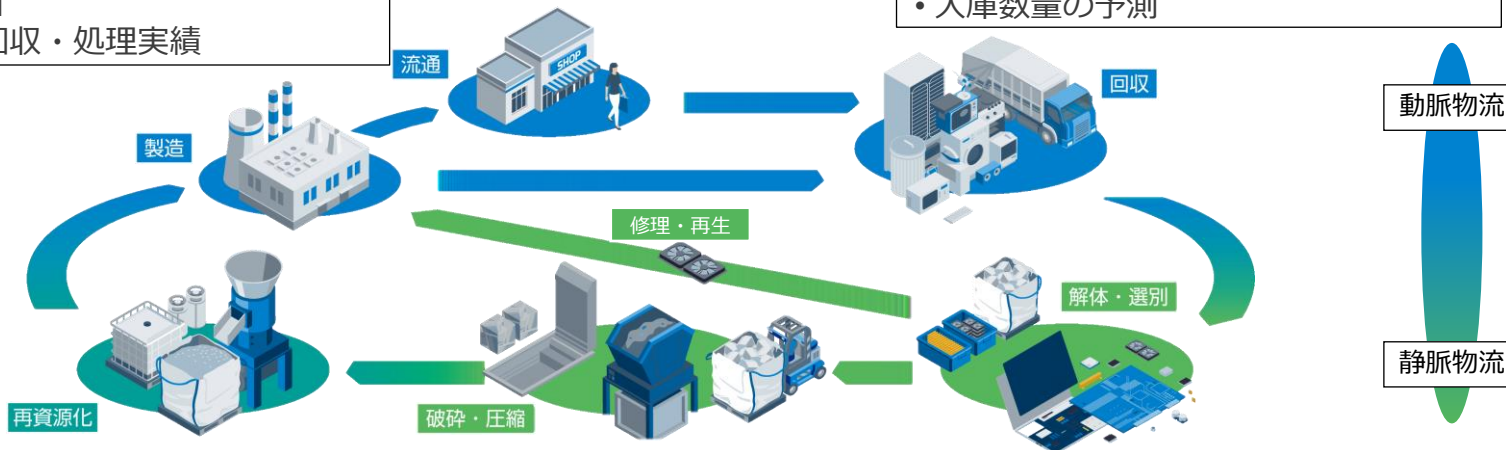
静脈物流情報化によるトレーサビリティ構築で課題解決

動脈市場への製品情報フィードバック

- 処理時に発生する温室効果ガス
- リサイクル率
- 解体容易な設計
- 流通後製品の回収・処理実績

静脈ロジスティクスの最適化

- 適切なタイミングで回収指示
- 効率的な配車計画
- 在庫数量の予測



新しいリサイクル技術導入支援

- 処理実績から新たに開発すべき処理技術情報提供

再生資源の配分最適化

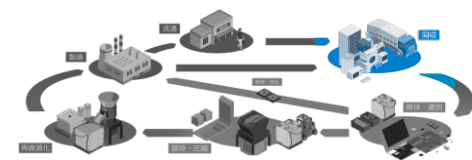
- 供給可能量の予測
- 製品ごとの回収可能資源情報
- リユース品の管理・トレース

再生資源の品質の管理

- 原材料情報
- 再処理実績
- マニフェスト管理・運用



回収状況の可視化・システム連携によってオペレーション全体を最適化



画像取得

開発完了

A社

B社

現在充填率認識と将来予測

開発中

保存

現在量認識と将来量予測

外部システム連携

開発中

廃棄物回収 配車システム

廃棄物処理計画連携

電子マニフェスト管理システム連携

JwNET
※Japan Waste Network

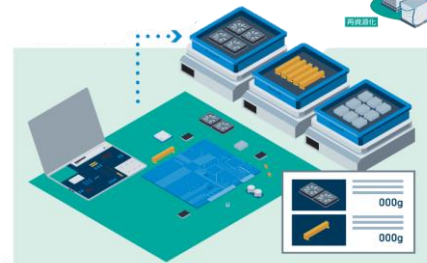
静脈物流において対象物を時系列で可視化 (定量出荷実現・特定品質確保)



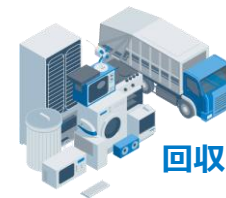
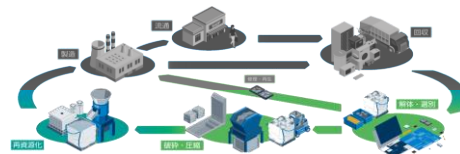
トレーサビリティ



コンテナ管理



回収物の特定・測定



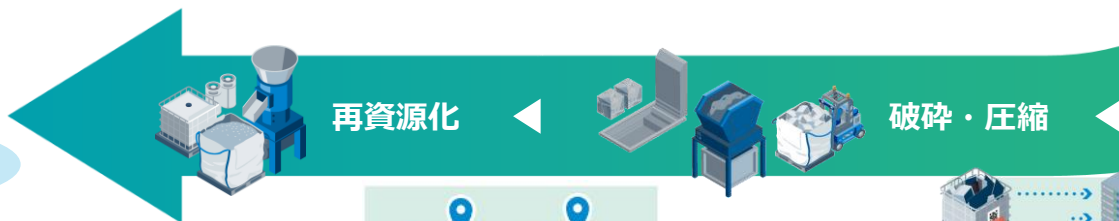
回収



解体・選別



素材メーカー



再資源化

破碎・圧縮

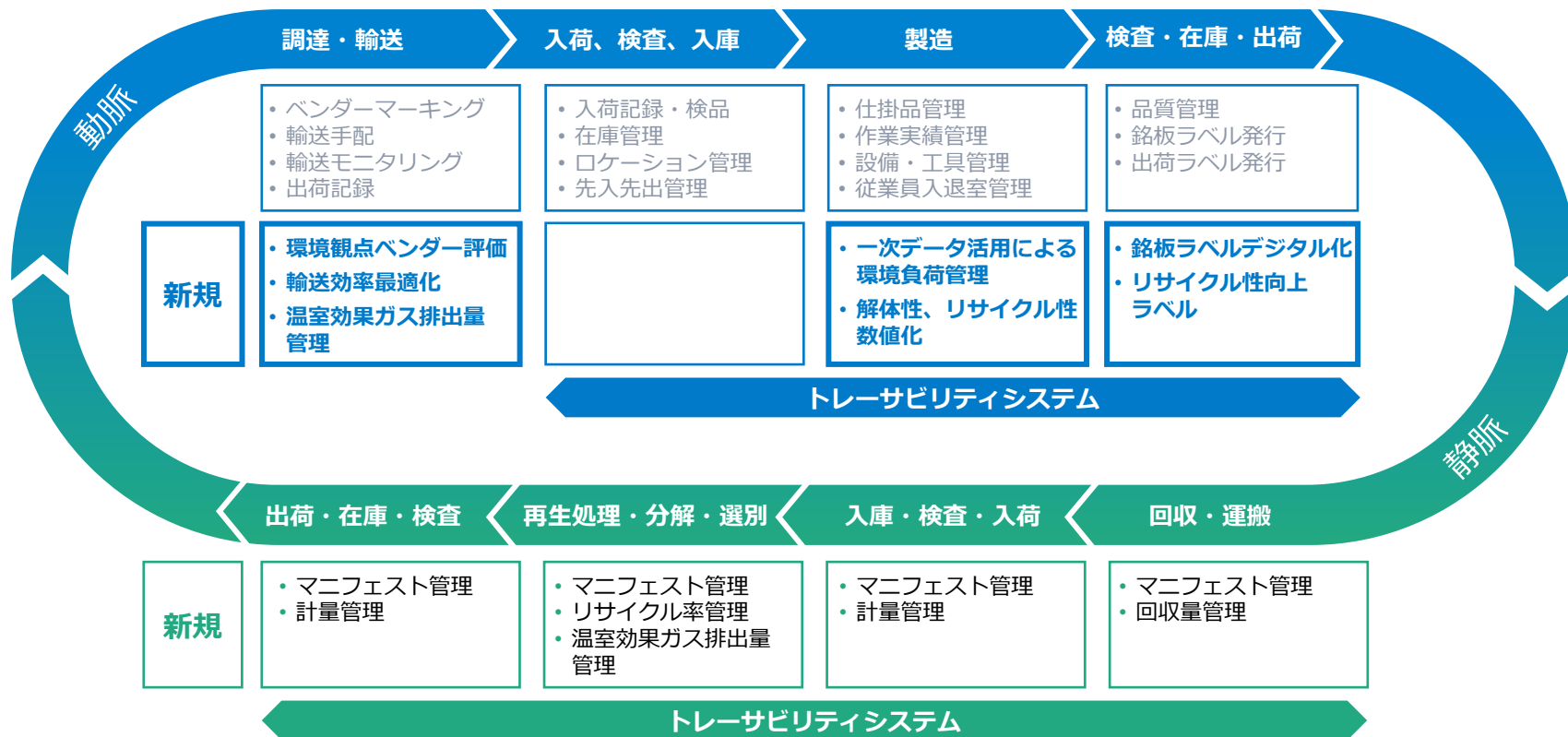


仕掛かり品ロケーション管理



入出荷作業

循環型経済実現を意識し、動脈物流においても新たな事業機会を創出



- 2024年10月30日 株式会社エンビプロ・ホールディングス様と
「リチウムイオン電池リサイクル過程の情報化」に着手
([リリース](#))
- 2024年11月27日 株式会社ナカダイホールディングス様との協業で
「廃棄物の再生資源過程をデジタル化しデータ蓄積」に成功
([リリース](#))
- 2024年12月4日 株式会社エンビプロ・ホールディングス様と
「リチウムイオン電池リサイクル過程の情報化」実証成功
([リリース](#))
- 2024年12月4-6日 サーキュラーパートナーシップEXPO2024出展
([リリース](#))



日刊工業新聞社から著作権利用に関する許諾を受けています

新領域への挑戦で2030年ビジョンの実現、利益を伴う売上高成長をめざす

- 新たな技術の獲得を通じ、**価値提供範囲を拡大**
- 新領域への挑戦により事業を拡大し、**持続的な売上高・利益成長をめざす**
- 医療SCM：献血から輸血の**トレーサビリティ構築**で患者に適切な医療を提供
- 静脈物流：情報化による**トレーサビリティ構築**で静脈物流を実現

Perfect and Unique Tagging活用であらゆるものが情報化され、
社会のうごきが最適化されている未来の実現に貢献

【本資料ご利用にあたっての注意事項】

- ・ 本資料に記載の内容は全て2024年12月現在の情報をもとに作成したものです。
- ・ 本資料に記載の内容は予告なく変更することがあります。
- ・ 本資料で使用される商標、ロゴ、商号に関する権利は、当社またはそれぞれの権利の所有者に帰属します。
- ・ 本資料の内容に関する一切の権利につきましては当社に帰属し、本資料の全部または一部を当社の文書による事前の承諾なしに転載または複製することを固くお断り致します。

